

「第1回 大村知事と語る会 あいちの観光 ―あいちの誘客戦略―」主なご提言に係る県の対応

主な提言のポイント	県の対応
東アジア諸国はGDPが今後も上昇することが見込まれ、これらの国々で海外旅行ブームが起きる。とりわけ中国、香港、韓国等をターゲットにした観光客の取り込みを進めるべき。	平成23年度に続き、平成24年度も、韓国、中国における観光プロモーションの実施を予定しています。
従来のアジア観光客の主要ツアールートは、大阪で入国し京都を観光した後、富士山を観光するために中間地点の愛知県で宿泊だけしてすぐに移動するパターンが多い。愛知県でゆっくり滞在していただき、愛知の魅力を味わっていただくことが大事。	中部国際空港から石川県能登半島に至る観光ルートを「昇龍道(ドラゴンルート)」と名づけ、海外からの誘客拡大を目指すプロジェクトに参画し、当地の観光の魅力のPR等に取り組みます。
外国人は、侍など日本だけにしかない「本物」を見たり体験したいと思っている。愛知県は武将の歴史の舞台となった地が豊富にあり、歴史を感じることができる土地であるのでこれを生かすべき。	平成23年度に、愛知ゆかりの武将の妻、娘などにより構成する「あいち戦国姫隊」を結成し、「武将のふるさと愛知」を広くPRしました。平成24年度においても、この取組を継続し、PRの強化に努めていきます。
愛知イコール「侍の聖地」といえるくらい、愛知における武将の歴史は日本の歴史の中で際だっている。武将を使って愛知にしかない付加価値を海外にうまくPRできると良いのではないか。	平成23年度に、東海4県3市の連携で、「徳川家康」をテーマとして、台湾のテレビ局等を招へいし、関連する観光資源のPRに努めました。今後は、織田信長、徳川家康をテーマとした外国人観光客向けのパンフレットを多言語(中国語(簡体・繁体)、韓国語、英語)で作成し、海外で配布します。
一番の観光戦略は、観光客の方々が愛知の人々と親しくなっていくこと。そのために、私たち県民がいかに魅力的な人になれるかということに尽きる。	平成22年12月に、市町村、観光関係団体等で構成する「おもてなし愛知県民会議」を立ち上げ、平成23年度には、シンボルマークを用いた啓発や外国人旅行者に対する接客スキルアップ研修などを行いました。今後も、県民一人ひとりが観光への意識を高め、県全体として、おもてなしの向上を図ります。
愛知は食文化、外食産業が非常に発達している。いいお店がたくさんあるので国内誘客のためにグルメも打ち出していくと良いのではないか。	平成24年度には、東京・大阪において、旅行社やマスコミを対象として、愛知の観光資源や個性豊かなグルメを紹介する観光プロモーションイベントの開催を予定しています。
愛知県にはいろんな伝統芸能があるので、これらをうまくPRに使うと良いのではないか。	本県において、ユネスコの世界無形文化遺産への登録をめざしている「花祭」のネット動画を日本語・英語・中国語で制作し、YouTubeで配信することで、海外への伝統芸能のPRにも努めています。また、文化庁の助成を受けて、平成23年度から25年度にかけて「花祭」の全地区を網羅したデジタルアーカイブを構築します。
観光客をお迎えする自分たち県民自身が、まず自分たちの地域の良いものを知ったうえでそれをPRすることが必要。	平成22年度から、「あいち観光まちづくりゼミ」を開催し、地域の隠れた観光資源の発掘に取り組みました。平成23年度及び24年度においては、地域の観光振興団体等に委託し、地元の観光資源を活用した旅行商品の造成を行い、その情報発信等を行うこととしております。
例えば、かわいい女の子のアニメで観光ガイドをしてくれるようなしくみをつくるとかができたら非常に面白いと思う。	平成23年度に制作したご当地キャラクターの「知多娘。」を活用したネット動画「デート de 知多あるき」を活用し、知多半島のPRに努めていきます。また、この「デート de 知多あるき」の英語版・中国語版については、YouTubeに掲載するだけでなく、海外(シンガポール・フィリピン・タイ・マレーシア・オーストラリア・中国など)で開催される国際旅行フェアなどでの放映も行っていきます。
中国から留学で来県したが、愛知には美味しく楽しい飲食店が多くあり、食の面での魅力があると思ったので、これを愛知県の観光の特色として海外にPRすると良いのではないか。	平成24年度には、韓国・ソウルの百貨店において、本県の観光地と観光資源としての「食」を一体的にPRする観光物産展の開催を予定しています。